

表9 全死亡及び三大死因による死亡率の推移

死亡数は、8,783人で前年より104人増加しており、死亡率は、6.4で前年と同数であった。死因別では、第1位・悪性新生物、第2位・心疾患、第3位・脳血管疾患となっている。

		平成11年	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
粗死亡率	全死亡	584.9	560.1	570.9	570.0	584.2	580.6	622.8	614.6	628.9	643.4	<b>642.4</b>
	悪性新生物	184.0	182.5	189.6	195.4	189.0	198.4	207.1	208.9	206.7	203.8	<b>211.2</b>
	脳血管疾患	87.2	77.3	72.4	73.3	81.6	70.2	75.1	71.4	67.3	69.2	<b>67.4</b>
	心疾患	78.2	74.8	83.2	80.5	80.7	87.1	94.8	90.8	97.6	97.8	<b>95.5</b>
年齢調整死亡率	全死亡	181.9	168.2	166.3	154.5	157.3	150.0	153.9	152.3	149.9	145.1	<b>142.0</b>
	悪性新生物	56.2	54.8	54.9	52.8	51.2	50.8	50.6	51.5	49.2	48.0	<b>46.8</b>
	脳血管疾患	21.4	18.5	16.5	15.1	16.6	13.6	14.4	12.7	12.3	12.1	<b>11.4</b>
	心疾患	20.6	17.7	20.0	18.9	18.5	19.4	21.0	18.8	19.4	18.1	<b>18.5</b>

注) 年齢調整死亡率の基準人口は昭和40年川崎市人口

資料：庶務課「人口動態調査(指定統計)」より